

議会 だより

平成29年
第3回定例会

発行 田原本町議会
編集 議会編集委員会

平成29年田原本町議会「第3回定例会」が8月1日から14日まで14日間の日程で開かれました。台風5号の影響により委員会を延期する緊急対応も行われ、会期中、各議案について慎重に審議が行われ、8月14日に閉会しました。

議案概要

《採択した案件》

○住宅精密耐震診断補助金増額を求める請願（全員賛成）

住宅精密耐震診断補助金の増額を求めるもの

《可決・認定した案件》

○平成29年度田原本町一般会計補正予算（第2号）（賛成多数）

教育費242万円の増額で、中学校給食棟建設の基本・実施一括設計に、追加業務を行う必要が生じたことから、委託料を増額するもの

○田原本町法令遵守推進条例（賛成多数）

職員が職務を執行するに当たっての法令遵守体制に関し、必要な事項を定めるとともに、公正な職務の執行を確保するために必要な措置を講じることにより、公務に対する町民の信頼を確保し、もって町民と共に

公平かつ公正な町政の運営に資するための条例を制定するもの

○唐古・鍵遺跡史跡公園条例（全員賛成）

唐古・鍵遺跡を町民の誇るべき歴史遺産として次世代に確実に引き継ぐこと並びに地域の歴史学習の場及び町民の憩いの場を提供することを目的として、唐古・鍵遺跡史跡公園を設置し、管理するための条例を制定するもの

○田原本町附属機関に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）

任命権者が職員に対する分限処分又は懲戒処分を行うに際し、当該任命権者からの諮問を受け調査審議を行う審査会について、外部委員による、より客観的・専門的な意見を踏まえた処分内容に関する答申を受けするため、内部委員に加え、外部委員も構成委員とする田原本町職員分限懲戒審査会を町長の附属機関として設置する改正を行うもの

○田原本町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）

田原本町補助金等適正執行調査委員会から指摘があったとおり、補助金等交付事務においてのチェック体制の甘さや対応の無責任さが要因となり、適正な事務処理手続きができていなかったことによる町政に対する信頼低下や、前副町長が逮捕されたことにより町政の停滞と混乱を招いたことを重く受け止め、現町長の結果責任として給料を3ヶ月間30%減額する改正を行うもの

○田原本町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（全員賛成）

施設を利用する際の受給資格等の確認書類の追加及びその他条文の整備を行うもの

○唐古・鍵遺跡整備事業（一工区）公園整備工事請負契約締結について（全員賛成）

唐古・鍵遺跡史跡公園の入口インフォメーションゾーンを整備するもので、契約金額1億697万5080円で、安井建設株式会社と請負契約を締結するもの

○多目的広場造成工事請負契約締結について（賛成多数）

唐古・鍵遺跡の東側に隣接する

場所に駐車場を備えた多目的広場を造成するもので、契約金額9564万2640円で、株式会社北林組と請負契約を締結するもの

○十六面黒田線道路改良等工事請負契約締結について（全員賛成）

宮古地内の町道十六面黒田線において、道路改良工事と上水道工事及び下水道工事を、契約金額7582万4640円で、株式会社仲谷組と請負契約を締結するもの

○平野5号線道路改良等工事請負契約締結について（全員賛成）

平野地内の町道平野5号線において、道路改良工事と上水道工事を、契約金額6900万5520円で、株式会社仲谷組と請負契約を締結するもの

《提出された意見書の概要》

第3回定例会で提出された意見書は以下のとおりで、不採択となりました。

意見書	提出議員
安易な憲法改正議論に反対する意見書（賛成少数）	吉田容工議員
核兵器禁止条約に参加することを求める意見書（賛成少数）	吉田容工議員

○田原本町清掃工場解体工事請負契約締結について(全員賛成)

平成29年3月末日操業を終了した、田原本町清掃工場の解体工事を、契約金額3億1477万4640円で、中和・中川特定建設工事共同企業体株式会社とコンストラクションと請負契約を締結するもの

○指定管理者の指定について(全員賛成)

道の駅レステイ唐古・鍵の指定管理者に、奈良交通株式会社を指定し、指定の期間を平成30年3月1日から平成35年3月31日までとするもの

○平成28年度田原本町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(全員賛成)

平成28年度の未処分利益剰余金、1億514万9416円のうち、1200万円を資本金に組み入れるもの

○平成28年度田原本町各会計歳入歳出決算の認定について(賛成多数)

地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定により、監査委員の意見を付けて議会の認定に付すもの

委員8名で構成される決算審査特別委員会を設置し、各会計歳入歳出決算及び関係する議案について審査を行った。(決算の詳細は広報9月号に掲載されています。)

町政を問う

このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

西川 六男 議長

今期定例会は、我々町議会議員一同が9月25日に任期満了を迎えることから、8月に開催いたしました。会議では、請願1件、条例等14の案件と議員発議の意見書2件を審議し、4名の議員が一般質問を行いました。平成28年度田原本町各会計歳入歳出決算については、決算審査特別委員会(委員8名)を設置し、慎重に審査いたしました。

さて、本紙発行の10月には、本町の未来を託す議員が新たに選挙で選ばれ活動されていることと思います。任期中には多くの皆様からご指導、ご協力を賜りましたこと、議会を代表し厚く御礼申し上げます。

辻 一夫 議員

新清掃工場「やまとクリーンパーク」が、6月19日に竣工を迎え、清掃工場建設検討特別委員会を目的を達成し解散されました。

各委員会審査の状況 (質疑等から抜粋)

《総務文教委員会》

質問 平成29年度田原本町一般会計補正予算(第2号)について、田原本中学校の給食を各階に運ぶリフトの設置場所、調理棟からの運搬経路はどのように行うのか。

回答 給食配膳用のリフトは田原本中学校の北館東側に設置予定であり、調理棟からの運搬については授業にできるだけ影響が無く、また、短時間で運搬できるよう配慮し、配送車により県道・町道を通る外回りの経路を考えている。

質問 田原本町法令遵守推進条例について、町職員の適切な職務執行についての条例に、町民等の責務を規定する必要があるのか。

回答 町政における公正な職務の執行を確保するためには職員だけでなく町民や町政に関わる方々の協力・理解が必要であることから努力義務を規定するものである。

《厚生建設委員会》

住宅精密耐震診断補助金増額を求める請願について

討論の要旨 住宅・建築物の耐震性

本施設は、本町、御所市、五條市が設立した一部事務組合により管理運営が行われ、広域でごみ処理を行うことにより、施設の建設費や運営コストの削減及び環境負荷の低減に繋がります。施設の建設については一段落ですが、今後は施設の運営、ごみの処理について、構成する二市一町、また、管理業務委託業者とも十二分に協議を行い、長期的に安定した運営への取り組みが重要です。

吉田 容工 議員

多目的広場造成工事請負契約締結に反対しました。昨年12月、町長が、公園には杭も打てない、これでは開園イベントもできないという理由で、広場設置の構想を示されました。今議会で示された唐古・鍵遺跡史跡公園の東側に約3反の土地を購入し、62台の駐車場と舗装しただけの多目的広場をつくる計画にびっくりました。コンサートやバザーなどイベントを予定していますという説明を頂きましたが、トイレもない広場をイベントに使う方はありません。開園イベントにも使わないとなると、全くのムダ遣いです。

植田 昌孝 議員

8月議会は総務文教委員会の委員長を務める任期最後の定例会でした。

の向上に取り組む町の方針とも合致しており、住民の耐震診断を応援していくべきとの意見が出された。

質問 田原本町清掃工場解体工事請負契約締結について、撤去後の土地が環境に影響なく安心して活用できるかについて、住民への説明はどのように考えているのか。

回答 工事の施工計画や撤去後のダイオキシン等の有害物質の調査結果については、「田原本町清掃工場公害モニタリング委員会」を通じて説明を行う予定である。

質問 指定管理者の指定について、選定にあたって、応募者数、選定の方法、理由は。

回答 2者の応募があり、プレゼンテーション、ヒヤリング等により、特に利用者増加、道の駅の特性を活かす創意工夫、管理の組織体制等についての提案内容を審査し選定を行った。

《唐古鍵遺跡整備検討特別委員会》

質問 唐古・鍵遺跡整備事業(一区)公園整備工事請負契約締結について、復元される環濠はどのようなものか。

回答 草が生えにくいよう造成し、大環濠については、深さ85センチメートルで常時20センチ程度の水を貯める予定である。

委員会で審査し可決されました。「田原本町法令遵守推進条例」は町職員倫理の遵守と内部公益通報制度、特定要求行為への対応という2つの制度を設け、調査を行う為に「法令遵守委員会」、対応方針等を検討する「法令遵守対策会議」が設置されるものです。

また、清掃工場建設検討特別委員会は目的を達成し閉じる事となりましたが、今後も引き続き2市1町の枠組みで運営していく中で、残された課題等が本町の負担とならない様にと確認を致しました。

松本 美也子 議員

認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らせるように、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を見守り、支援する「認知症サポーター養成講座の実施の拡充について」質問しました。自治会、サロン、磯城消防署、金融機関、磯城野高校ヒューマンライフ科2年生、老人会、生活学校等1074名の方々が既に受講され、今後も積極的に出前講座等を開催し、サポーター養成に努めたいと答弁。

小中高校生や大学生、町職員、教職員・学校関係者等、受講対象者の拡充、アンケート実施による改善を提案しました。

質問 多目的広場造成工事請負契約締結について、多目的広場は具体的にどのような活用を考えているのか。

回答 東側は駐車場(62台分)として、西側広場部分は土舗装を行い、音楽祭、フリーマーケット、農産物の販売等イベントに幅広く活用できるよう水道・電気設備を整備し、また駐輪スペース(30台分)を設ける。

《清掃工場建設検討特別委員会》

担当課から報告 新焼却施設「やまとクリーンパーク」建設については、6月19日に竣工し、同月24日に竣工式が執り行われた。

施設では4月19日から余熱による発電を開始し、発電した電力は施設内で使用し、余剰電力は電力会社へ売却。本町からの不燃・粗大ごみ搬入時期については、9月以降を予定しているとの報告を受けた。

特別委員会の解散 新清掃工場が竣工され、当委員会の設置目的を達成したことから8月14日解散しました。

審議内容を見ることができません
町ホームページに、本会議の会議録を掲載しています。
※平成19年第1回定例会から平成29年第2回定例会まで掲載しています。

小走 善秀 議員

新清掃工場「やまとクリーンパーク」が完成し、清掃工場建設検討特別委員会は解散となった。3市町での不燃ゴミの分別方法が異なり、町で処理する事態となっていたがそれも解消することになった。今後も難しい課題があり適切な対応を要望した。弥生の里ホールの活用について、収益性、有効性について配慮し積極的活用を提案した。「安易な憲法改正議論に反対する意見書」が共産党議員から提出された。十分議論を尽くすべきは当然で、国会の発議により、国民投票が行われ、民意が反映されると反対討論し否決された。

吉川 博一 議員

町長の給料を9月分から3カ月30%減額をする条例案の提出があり、私は、当該事件に関し、現町長が法を犯したと住民に誤解を与えかねない、このような責任の取り方は不適切と考え、町長にその理由を質しました。「議会からの提言や第三者委員会から指摘のとおり、補助金等交付事務においてのチェック体制の甘さや現地監査を行っていないなど職員への対応の無責任さ・体質の甘さが大きな背景であること、前副町長の逮捕により町政混乱を招いたことか

ら町行政の責任者である私の給与を減額する。」との答弁でした。

牟田 和正 議員

決算審査特別委員会委員として平成28年度の決算審査に加わりました。決算は予算執行の成果を評価し、以後の行財政運営の改善に役立てる重要なものです。安心して暮らせるまちづくりを目指し、特に高齢者の安全・安心への施策や、いじめ・不登校対策等について、実績を確認し更なる取組み・改善を要望し、改善策の提案等を行いました。

厚生建設委員会では、道の駅「レストイ 唐古・鍵」と唐古・鍵遺跡史跡公園の連携・活用について、道の駅、指定管理者、史跡公園間の連携が必要不可欠と考え十分な準備を求めました。

阪東 吉三郎 議員

町防災計画の奈良盆地東縁断層地震や東海・東南海・南海地震の発生確率は長期評価で、本場に役立つか疑問です。一般社団法人地震予兆研究センターでは、東日本大震災や熊本地震の時、事前に賛助会員企業等に「地震予兆情報」を提供し、過去3年間の的中率は82%とのこと。事前に高い精度の予兆情報が得られるならば、大規模地震から住民の被

害を軽減できると考え、当センターの事業内容及び実績等の確認、情報配信の導入について一般質問しました。町の回答は、「他団体の導入状況や活用方法等を検討する」でした。

森井 基容 議員

総務文教委員会にて、愛和会問題のけじめとすべく、3本の条例案が審議され承認されました。特に町長が結果責任として、給料を9月から3ヶ月間、30%減額するとの条例については責任の取り方として評価しています。

唐古鍵遺跡整備検討特別委員会では、平成三十年の開業に向け3本の議案（史跡公園条例、工事請負契約2本）を審議し承認しました。公園条例審議の際、ペットのことが話題となりましたが、公園のみでなく、本町全体としてペットのマナーに関する条例の必要性を指摘しました。

安田 喜代一 議員

唐古・鍵遺跡史跡公園及び道の駅レストイ 唐古・鍵の来春のオープンに向けて準備が進められています。本定例会では、史跡公園の入口インフォメーションゾーンの環濠などを整備する工事と公園に隣接設置される多目的広場の整備に関する工事2件と、史跡公園の管理運営について

定めた「唐古・鍵遺跡史跡公園条例」、また、奈良交通株式会社を道の駅の指定管理者とする4つの関連案件を審査し可決されました。両施設が、地域活性とともに、地域住民の憩いの場として愛されるよう盛り上げていかなければなりません。

森 良子 議員

総務文教委員会にて、「田原本町法令遵守推進条例」の審査に当たり、条例の目的は「職員が職務を執行するに当たつての必要な事項を定めるとともに、（中略）公務に対する町民の信頼を確保し、もって町民と共に公平かつ公正な町政の運営に資することを目的とする。」としながら、町民等の責務として「町民等は職員の公正な職務の執行について理解し、協力するよう努めるものとする。」としています。これは町民等に協力する義務ではなく、義務として押し付けるものではないかと考え、この項目は削除すべきと訴えました。

古立 憲昭 議員

本年4月から子育ての願いをかなえるまちの実現のため設置された「こども未来課」の現状を聞く。概ねスムーズに運営でき、相談件数も昨年より増えており、喜んでいただいているとの回答。しかし、相談内

容によっては窓口では他人の目があり行きにくいとの声があり、相談窓口を庁舎外に、例えば保健センターやNPO等に依頼し設置する等相談しやすい仕組みを提案し、今後検討との回答を得る。

決算審査特別委員会では、「ももたろう号」の初期の目的は達しているが、更なる住民の足として検討の必要を訴えました。

竹邑 利文 議員

「住宅精密診断補助金増額を求める請願」が可決されました。紹介議員として、住民の皆様が地震による被害軽減を図られることを望みます。一般質問においては、防災拠点となる学校施設の強化、ライフラインを守る生活に必要な備蓄の確保を質した。児童・生徒の携帯電話の使用実態について、自由度が高い反面、危険性のあるものが混ざっている。事件やトラブルに巻き込まれないように、学校と家庭が連携して取り組んでもらいたい。下水道に関しては、小学生に水環境の大切さを理解させる取り組みについて質した。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、12月上旬に開催します。

☎ 議会事務局 ☎ 34・2119